

市民生活への支援

市民の皆さんの暮らしを守るため、家計への支援、相談体制の強化、学習機会の確保や教育の充実を図ります。

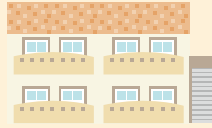
家計への支援

◆特別定額給付金 989億円

市民を対象に1人あたり10万円を給付

◆住居確保給付金 2億900万円

収入減少などにより住居を失ったまたは失うおそれのある方を支援するため、住居確保給付金の支給対象を拡充

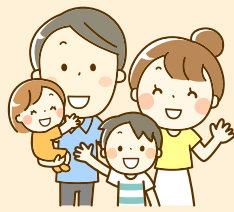


◆子育て世帯への臨時特別給付金

22億3,900万円

児童手当を受給する世帯に対し、臨時特別給付金を支給（支給額 2万円/人）

*市独自で1万円/人の上乗せ支給を実施（公務員を除く）



◆ひとり親世帯臨時特別給付金 7億4,300万円

低所得のひとり親世帯を支援するため、臨時特別給付金を支給（支給額 5万円/世帯など）

◆養育費確保促進 200万円

ひとり親世帯の養育費の確実な受け取りを支援するため、保証会社に対する保証料を助成

教育の充実・学習機会の確保

◆GIGAスクール構想の実現 54億400万円

子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに対応し、児童生徒・教師の能力を最大限に引き出すことができるよう、1人1台の学習用端末を整備（運用開始2021年度中）



◆学習指導員、スクール・サポート・スタッフの配置

3億6,300万円

児童生徒一人ひとりへのていねいな学習指導・教員の負担軽減のため、指導員、スタッフを配置（市立小・中学校および小・中特別支援学校）



◆家庭学習のための端末等貸与 5,000万円

休校時の学習をサポートするため、家庭内でのオンライン学習に支障がある児童生徒へ端末などを貸与



◆スクールカウンセラーの充実 5,000万円

学校再開後の不安やストレスを抱える児童生徒の心のケアのため、相談体制を充実（全市立小・中・高・特別支援学校170校）



生活の不安や悩みへの相談体制の強化

◆帰国者・接触者相談センター、市民向け電話相談窓口

4,800万円

新型コロナウイルス感染症に関する相談を24時間体制で受けするため、相談窓口を設置・運営

◆心のケア支援 5,000万円

心のケアに関する相談に対応するため、電話相談の時間を拡充するほか、新たにSNSを活用した相談を実施



◆生活困窮者自立相談支援機能の強化 2,000万円

生活困窮者の支援を強化するため、新たにアウトリーチ支援員を配置（中央区、稲毛区、若葉区各1人）

◆新型コロナウイルス専用お困りごと電話相談窓口

500万円

適切な相談窓口などを案内する、総合的な電話相談窓口を設置・運営



妊産婦への支援

◆妊産婦総合対策 9,000万円

不安や孤独を抱える妊産婦に対し、分娩前PCR等検査費用助成、寄り添い型相談支援、保健指導などのオンライン化を実施



事業者への支援

市内中小企業者の事業継続、働き方改革、生産性向上などを支援するとともに、市内消費を喚起し、活力ある千葉市を守ります。

事業継続の支援

◆事業者向け臨時相談窓口の設置 1,800万円

事業継続、雇用維持などの各種支援策を活用できるよう、専門家による相談や手続きサポートを行うための窓口を設置



◆理美容店利用促進 1億9,500万円

市内理美容店での消費を喚起するため、割引料金の助成、感染拡大防止のための対策費支援を実施



◆宿泊施設利用促進 6,300万円

市内宿泊施設に対し、千葉や房総をPRするプランの販売を促進

◆テナント支援協力金・支援金 19億4,300万円

休業要請などにより影響を受けた店舗の家賃を助成

◆飲食店のデリバリー対応支援 3,000万円

外出自粛の促進と市内飲食店の販売力強化のため、市内飲食店の宅配代行サービス利用に対する支援、宅配代行業者が消費者に発行するポイントなどへの助成を実施



*現在受け付けは終了しています。

働き方改革・生産性向上への支援

◆ICT活用による中小企業等変革促進 2,500万円

市内中小企業の働き方改革の促進や生産性向上のため、クラウドサービスやIT・IoT導入に係る経費などに対し助成